

【1】-6. 在庫数計算の考え方

- ※ 売上伝票では伝票日付ではなく配達日で在庫が変わります。
- ※ 各伝票で主に使う伝区(掛売上など)を対象に記述しています。返品の場合は在庫増減を逆にしてください。

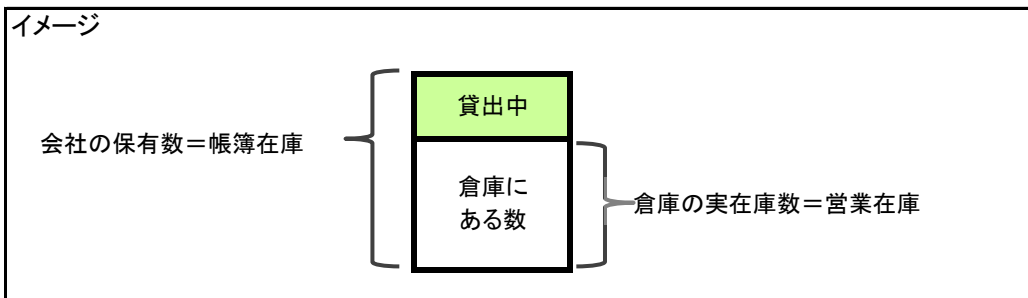
1. 在庫の種類

帳簿在庫

会社が保有している商品の在庫数です。貸出中のものを含みます。

実在庫(営業在庫)

倉庫に実際に存在する在庫数です。売上で減少し仕入で増加します。貸出すると減少し返却されると増加します。



2. 開始在庫数

単品管理しない商品 … 「システム管理」⇒「開始在庫登録」で残高数、残高金額を登録します。
残高日は「システム管理」⇒「運用設定」の「在庫開始日」に指定します。
通常は在庫開始日＝運用開始日を設定します。

単品管理する商品 … 「マスタ管理」⇒「単品登録」で登録します。
単品のため数量は入力しません。残高日は「在庫登録日」になります。

※残高日以前の在庫数計算はできません。表示はされますが正しい値ではありません。

3. 帳簿在庫数

◆ 帳簿在庫数の算出に利用する日付

入力画面	在庫減	在庫増
売上入力	配達日	-
入出庫入力(入庫処理)	-	入出庫日
入出庫入力(出庫処理)	入出庫日	-
入出庫入力(倉庫間移動)	入出庫日(出庫元倉庫)	入出庫日(入庫先倉庫)
入出庫入力(棚卸処理)	棚卸日	-

※帳簿在庫の算出では商品種別がレンタル系のものは対象外です。

※帳簿在庫の算出では修理入力は対象外です

◆ 帳簿在庫数の算出方法

帳簿在庫数＝開始在庫数＋(開始残高日＜日付≤基準日)の実増減数

※商品種別がレンタル系を除く

実在庫増減数とは…受注、修理(予約)を除く、実際に商品が移動した数量です。

出荷、売上、返却、入出庫、棚卸、修理(予約以外)がそれにあたります。

4. 実在庫数(営業在庫数)

◆ 実在庫数(営業在庫数)の算出に利用する日付

入力画面	在庫減	在庫増
受注入力	配達日(出荷済みのみ)	-
一括出荷処理	(受注伝票の)配達日	-
売上入力	配達日	-
返却入力	-	返却日
入出庫入力(入庫処理)	-	入出庫日
入出庫入力(出庫処理)	入出庫日	-
入出庫入力(倉庫間移動)	入出庫日(出庫元倉庫)	入出庫日(入庫先倉庫)
入出庫入力(棚卸処理)	棚卸日	-
修理入力	修理期間(開始) ※	修理期間(終了) ※
	※状況＝予約を除く	※状況＝修理・メンテ済のみ

◆ 実在庫数(営業在庫数)の算出方法

実在庫数＝開始在庫数＋(開始残高日＜日付≤基準日)の実増減数
 ※商品種別がレンタル系も含む